

# ハザードマップについて

## ハザードマップの使い方

### 〈ハザードマップで危険区域を確認〉

#### ①自宅の位置を確認

ハザードマップで自宅の位置を確認して○印をつけましょう。

#### ②災害別の避難先・避難経路を確認

災害別の避難先を確認して○印をつけ、避難先までの安全な避難経路を確認しましょう。  
※災害に対応した避難先か確認し、危険区域をなるべく通らない経路を考えましょう。  
※避難先は安全な場所であれば、自宅や親戚、友人宅でも構いません。

#### ③実際に歩いて確認

避難経路を実際に歩いて、ハザードマップの内容のほかに、危険な場所や目印となる場所を確認しましょう。

自宅以外によく行く場所(学校、会社、商店等)の周辺も確認してみましょう。

避難の考え方・ポイント…P7  
避難所一覧…P8

危険区域を確認したらマップや裏表紙の「連絡先書き込み欄」に書き込みましょう。



## 洪水ハザードマップ (P13-14)

### 索引図



### 洪水浸水想定区域について

宮崎県が平成30年に作成した、五ヶ瀬川水系三ヶ所川が大雨によって増水し、氾濫した場合に想定される「浸水する範囲(浸水域)と浸水の深さ(浸水深)」を示しています。

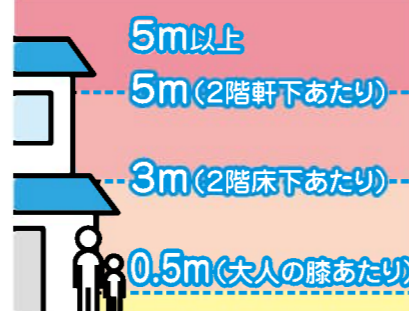
#### ■洪水浸水想定区域:計画規模(L1)

三ヶ所川流域の12時間総雨量250mm(概ね30年に1回程度起こる大雨)

#### ■洪水浸水想定区域:想定最大規模(L2)

三ヶ所川流域の24時間総雨量907mm(概ね1,000年に1回程度起こる大雨)

#### ●想定浸水深の目安



家屋の1階がすべて水に浸かってしまい、家財道具などに重大な被害がでます。

家屋が床上浸水します。また、自動車の走行が不可能となるばかりか歩くことも困難になり、生活に重大な影響がでます。

### 家屋倒壊等氾濫想定区域について

想定最大規模(L2)の洪水浸水想定区域の結果をもとに、家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が予想される区域を示したものです。

#### ■ 氾濫流による家屋倒壊等

堤防決壊などの氾濫によって木造家屋が倒壊するおそれがある区域



#### □ 河岸侵食による家屋倒壊等

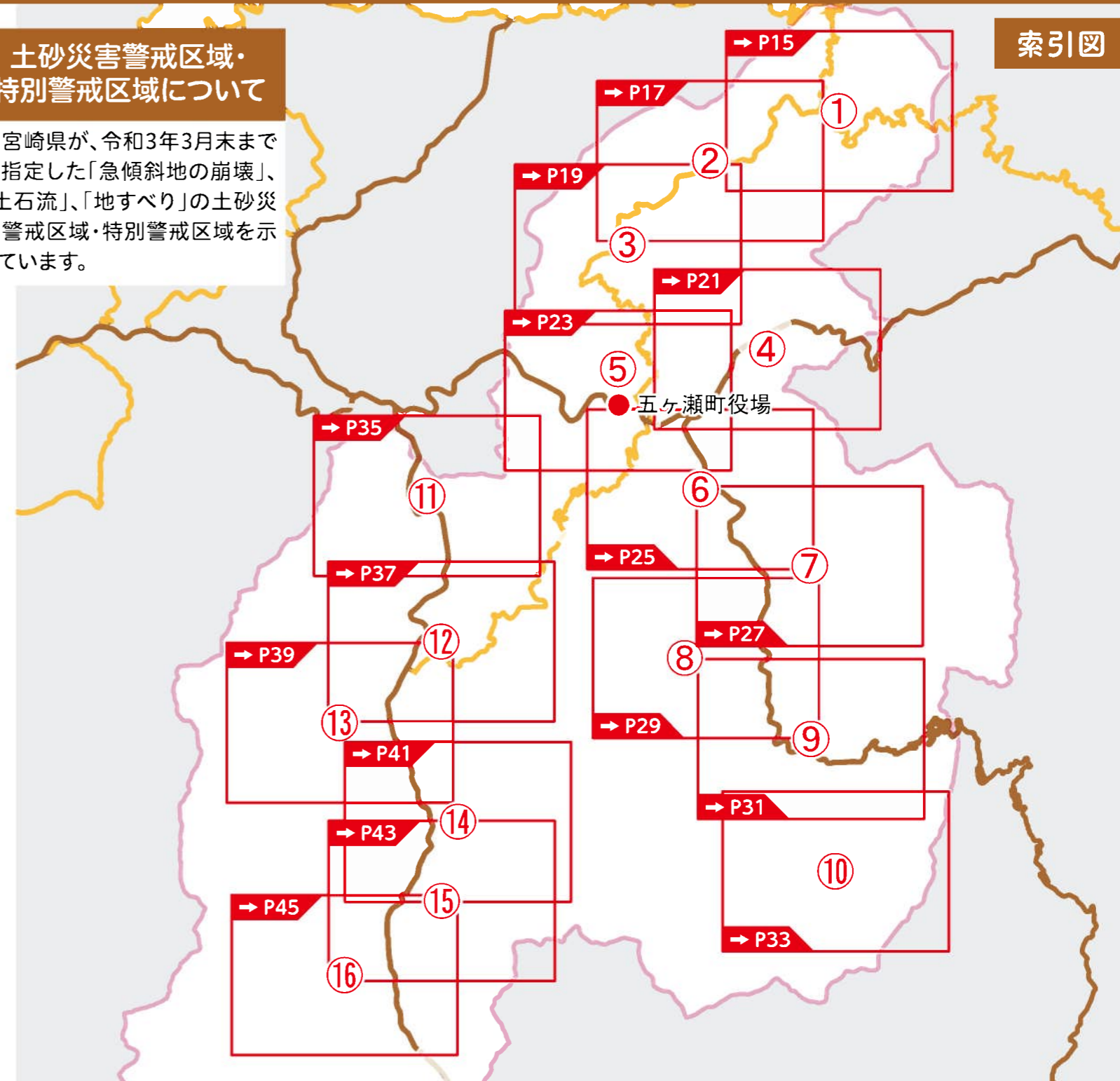
氾濫によって堤防などの河岸が削られることで、木造・非木造の家屋が倒壊するおそれがある区域



## 土砂災害ハザードマップ (P15-46)

### 土砂災害警戒区域・特別警戒区域について

宮崎県が、令和3年3月末までに指定した「急傾斜地の崩壊」、「土石流」、「地すべり」の土砂災害警戒区域・特別警戒区域を示しています。



### 索引図

#### マップ① (P15-16)

(8区全域)

#### マップ② (P17-18)

(7区全域)

#### マップ③ (P19-20)

(6区全域)

#### マップ④ (P21-22)

(5区[越次・八重所・日向・日陰・室野])

#### マップ⑤ (P23-24)

(5区[室野住宅・Gパーク住宅]、4区全域、3区全域)

#### マップ⑥ (P25-26)

(2区全域)

#### マップ⑦ (P27-28)

(1区[坂本・寺村・内ノ口・坂野・荒谷・牧・学校住宅])

#### マップ⑧ (P29-30)

(1区[大石])

#### マップ⑨ (P31-32)

(1区[長原・一ノ瀬・長迫・谷下])

#### マップ⑩ (P33-34)

(1区[尾原・奈良津・内の谷・舟の谷・桑の木谷])

#### マップ⑪ (P35-36)

(9区全域)

#### マップ⑫ (P37-38)

(10区[笠部・銀世界住宅・東光寺・中園・中村・丁子・寺村・しゃくなげ住宅・あけぼの団地]、11区[長峰・祇園町・深谷・芋の八重・折立・学校住宅・矢惣園])

#### マップ⑬ (P39-40)

(12区全域、11区[小切畑・広瀬・小川・下川])

#### マップ⑭ (P41-42)

(10区[大石の内・長崎]、13区[渡瀬・木合屋・荒谷])

#### マップ⑮ (P43-44)

(13区[中入大平・水流])

#### マップ⑯ (P45-46)

(14区全域)

ハザードマップについて

ハザードマップについて